

伊勢国府跡 5

2003年3月

鈴鹿市教育委員会



6ALC-D区 全景(西から)



6AJJ-D区 SD14(南から)

Color Plate 2



6AJE-C区 全景(東から)



6AJC-G区 全景(東から)



SX157ガラス玉出土状況(北から)



SX157ガラス玉・管玉出土状況(西から)

Color Plate 4



管玉・ガラス玉

例 言

1. 本書は、国庫・県費補助事業として鈴鹿市教育委員会が2002（平成14）年度に実施した長者屋敷遺跡ほか発掘調査事業のうち伊勢国府跡（長者屋敷遺跡・第15次）の調査概要をまとめたものである。

2. 発掘調査は以下の体制で実施した。

調査主体	鈴鹿市教育委員会（教育長 山下 健）		
調査指導	大場範久（神戸高等学校教諭）		
	川越俊一（奈良文化財研究所）		
	高瀬要一（奈良文化財研究所）		
	八賀 晋（三重大学名誉教授）		
	渡辺 寛（皇學館大学教授）		
	文化庁文化財保護部記念物課	三重県教育委員会生涯学習分野文化財保護チーム	
	三重県埋蔵文化財文化財センター	斎宮歴史博物館	
調査担当	鈴鹿市考古博物館		
組織及び構成	参事兼鈴鹿市考古博物館長	林 銀哉	
	副参事兼埋蔵文化財グループリーダー	中森成行	
	埋蔵文化財グループ指導主事	北条正則	川合圭子
	副主幹	藤原秀樹	
	副主査	鈴木孝幸	田中忠明
	嘱託	吉田真由美	林 和範

3. 調査を実施した箇所及び面積は以下のとおりである。

Tab. 1 調査区一覧

地区記号	所在地	面積 m^2
6ALC-D	三重県鈴鹿市西富田町字矢卸1015番8	486.0 m^2
6AJJ-D	三重県鈴鹿市広瀬町字矢下1154番	563.5 m^2
6AJE-C	三重県鈴鹿市広瀬町字矢下1120番1	65.7 m^2
6AJC-G	三重県鈴鹿市広瀬町字矢下1125番	68.9 m^2
合 計		1184.1 m^2

4. 調査期間は2002年4月24日から2002年8月12日までである。

5. 現地調査は前記係員のうち主に川合・吉田が担当し、中森・藤原の協力を得た。

6. 本書の編集・執筆は藤原の指導のもと、吉田が担当した。遺物の実測は下記屋内整理員のうち別府・水谷が行い、遺物の写真撮影は新田剛（鈴鹿市考古博物館学芸員）が行った。

7. 調査参加者は以下のとおりである。

〔現地調査〕江藤栄生・江藤経子・小河茂・小河清角・水野豊・森明

〔屋内整理〕片岡貴美子・神田梢・杉本恭子・別府智子・水谷由起子・坂下日向

8. Plate. 1では国土地理院発行1:50,000四日市・亀山の一部を使用した。

9. 今回検出した遺構は以下のとおりである。

Tab. 2 遺構一覧

SD：溝	ST：竪穴住居	SK：土坑	SX：土坑墓
144・147・148・158 163・164・165・166	155	145・146・150・152 156・160・162	149・151・153 154・157・161

10. 座標は過去の調査との整合性を保つため、国土座標第VI系を用いている。図中の方位は座標北を示す。

11. 調査区は必要に応じ、3mグリッドに分割し、北西のX・Y座標から下3桁を組み合わせるグリッド名とした。

例) X=-124390・Y=45710の場合、390・710

12. 本調査にかかる遺物・図面・写真は全て鈴鹿市考古博物館が保管している。

調査及び報告書刊行にあたっては上記指導委員の先生方の他に地権者ならびに地元各位をはじめ下記の方々のお世話になりました。記して感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

佐野寿一・宮崎照子・田中四郎・森尾明・広瀬町自治会・西富田町自治会・中富田町の山自治会・中富田町の町自治会・石毛彩子・泉雄二・宇河雅之・大川勝宏・加藤真二・河北秀実・駒田利治・杉谷政樹・竹内英昭・辻公則・早野浩二・村山邦彦・山澤義貴・山中敏史・吉水康夫

本文目次

I. はじめに	1	III. まとめ	4
II. 遺構と遺物	2	英文目次・要旨	6

表目次

Tab. 1 調査区一覧	例言	Tab. 4 管玉観察表	4
Tab. 2 遺構一覧	例言	Tab. 5 ガラス玉観察表	5
Tab. 3 調査履歴	1	Tab. 6 報告書抄録	29

図版目次

Plate 1 周辺の遺跡(1:100,000)	7	東から)／6ALC-D区SD148東断面(南から)／6ALC-D区SX157検出状況(北から)／6ALC-D区SX157管玉出土状況(南から)	23
Plate 2 調査区位置図(1:5,000)	8		
Plate 3 調査区位置図(1:2,000)	9		
Plate 4 6AJJ-D・6ALC-D区遺構配置図(1:200)	11	Plate 16 6ALC-D区SD148土師器・短頸壺出土状況(南から)／6ALC-D区SX149・SK160(南から)／6ALC-D区SX149中層遺物出土状況(西から)／6ALC-D区SX149下層遺物出土状況(西から)／6ALC-D区SK150・SX151検出状況(南から)／6ALC-D区SX153検出状況(西から)／6ALC-D区SX154・SX161検出状況(東から)／6ALC-D区ST155(東から)	24
Plate 5 6ALC-D区SD147・SX153・SK156平面図(1:100)・断面図(1:50)	13		
Plate 6 6ALC-D区SD148・SX149・SX154・ST155・SK160・SX161平面図(1:100)・断面図(1:50)	14		
Plate 7 6ALC-D区SK150・SX151・SK152平面図(1:100)・SK150・SX151断面図(1:50)	15		
Plate 8 6ALC-D区SX157平面図(1:20)・断面図(1:20)・ガラス玉・管玉出土状況(1:2)	16	Plate 17 6ALC-D区SD147・SK156検出状況(南から)／6ALC-D区SD147断面(南から)／6ALC-D区SK156断面(東から)／6AJJ-D区(北東から)／6AJJ-D区西半(南西から)／6AJJ-D区SD144鬼瓦出土状況(北から)／6AJJ-D区SK145(南から)／6AJJ-D区SK146検出状況(南から)	25
Plate 9 6AJJ-D区SD144・SK145平面図(1:100)・SD144断面図(1:50)	17		
Plate 10 6AJJ-D区SD166・耕作溝平面図(1:100)・断面図(1:50)	18		
Plate 11 6AJC-G区・6AJE-E区平面図(1:100)・SK162・SD164・SD165断面図(1:50)	19	Plate 18 6AJE-C区SD164・SD165(南から)／6AJE-C区SD164断面(南から)／6AJC-G区SD163検出状況(南東から)／6AJC-G区SK162(南東から)／6AJJ-D区作業風景(南西から)／6ALC-D区作業風景(北から)／指導委員会(南から)／現地説明会(南西から)	26
Plate 12 6AJJ-D区・6ALC-D区出土遺物(1:4)	20		
Plate 13 6AJJ-D区・6ALC-D区出土遺物(1:4)管玉・ガラス玉(1:2)	21	Plate 19 出土遺物	27
Plate 14 6ALC-D区SD148出土石斧(1:2)	22	Plate 20 出土遺物	28
Plate 15 6ALC-D区より政庁を望む(南から)／6ALC-D区(北東から)／6ALC-D区SD148検出状況(南西から)／6ALC-D区SD148西断面(南から)／6ALC-D区SD148南西断面(南			

カラー図版目次

Color Plate 1 6ALC-D区(西から)6AJJ-D区SD144(南から)	Color Plate 3 SX157ガラス玉出土状況(北から)SX157ガラス玉・管玉出土状況(西から)
Color Plate 2 6AJE-C区(東から)6AJC-G区(東から)	Color Plate 4 管玉・ガラス玉

I. はじめに

鈴鹿市広瀬町に所在する長者屋敷遺跡は、平成4年度から始まった鈴鹿市教育委員会による発掘調査によって、8世紀後半の伊勢国府跡であることが明らかとなった。

平成5年度から7年度にかけて、政庁域の範囲確認調査を行い、正殿、後殿、東西脇殿、そしてそれらを結ぶ軒廊、更に東・西・北辺の築地塀を確認した。平成11年度の調査で南門を確認したことで政庁全体の構造、規模がほぼ明らかとなった。また、平成12年度調査では政庁西隣に「西院」とも呼べる区画を確認している。その他、平成8年度以降、政庁より北部において調査が行われ、瓦葺礎石建ち建物が整然と建ち並び、

築地ないし土塁などで囲まれた区画が確認されている。

瓦などの分布から知られる遺跡の範囲は、政庁周辺から北へと広がっているため、調査の主眼は自然と政庁周辺から北部に向けられ、政庁から南における発掘調査は、道路の舗装工事に伴う試掘調査が行われたのみであった。

下野国府跡や近江国府跡では政庁南門から南へと続く、朱雀大路とも呼べるような道路が存在し、その道沿いに国司館と推定されている建物群などが確認されている。そこで今回、南門から南へと続く道路を想定し、政庁から南における遺構の広がりを確認するために調査区を設けた。

Tab. 3 調査履歴

次数	調査年度	調査区記号	所在地	調査期間	面積	調査原因	概要
プレ1次	1957	A地点 B地点	広瀬町字南野 広瀬町字矢下			学術	礎石建物 基壇
1次	1992	長塚1 南野1 荒子1	広瀬町字長塚1247, 1248 広瀬町字南野971 広瀬町字荒子981	921110~930129	110 115 110	学術	礎石遺構 礎石建物 瓦溜・溝
2次	1993	6AHI-F 6AJA-A-1 6AJA-A-2 6AJA-A-3 6AJA-D 6AJD-A	広瀬町字仲起1226 広瀬町字矢下1134 広瀬町字矢下1134 広瀬町字矢下1137 広瀬町字矢下1140 広瀬町字矢下1141	931129~940228	62 38 33 18 32 55	学術	政庁西外溝 政庁後殿・軒廊 政庁後殿 政庁東隅楼 政庁東内溝・東外溝 政庁東内溝・東外溝
3次	1994	6AJA-A-4 6AJA-J	広瀬町字矢下1132, 1133 広瀬町字矢下1131	941006~941227	750	学術	政庁西脇殿・正殿・西軒廊 政庁西脇殿・西内溝・西外溝
3-2次	1994	県調査区	広瀬町字仲土居, 亀山市能楽野町字仲土居	940601~940817	2700	県緊急	溝
4次	1995	6AJA-A-5 6AJA-A-5 6AHI-B	広瀬町字矢下1132, 1133 広瀬町字荒子1135 広瀬町字仲起1227-1	950920~951219	254	学術	政庁西内溝・西隅楼 政庁後殿 政庁北外溝
4-2次	1995	県調査区	広瀬町字仲土居, 亀山市能楽野町字仲土居	950605~950713	1600	県緊急	溝
5次	1996		広瀬町字丸内	960620~960716	133	市緊急	竪穴住居・溝
6次	1996		広瀬町字矢下	960625~960719	288	市緊急	溝
7次	1996	6AGE-A	広瀬町字南野972, 972-1, 972-2, 973	961007~970121	580	学術	掘立柱建物・礎石建物・溝
8次	1997	6AFB-A	広瀬町字長塚1279-2	971016~980210	632	学術	倒壊瓦・礎石建物・溝
9次	1997	A地区 A地区 A地区	広瀬町字矢下 広瀬町字矢下 広瀬町字仲起	980223~980320	21 26 5	市緊急	政庁南辺部 政庁西脇殿 溝
10次	1998	6AFB-B	広瀬町字長塚1279-3, 1279-5	980901~981228	1014	学術	礎石建物・溝・土坑
11次	1999	6AJA-H 6AJA-FG 6AJC-A 6AJC-D	広瀬町字矢下1176 広瀬町字矢下1175, 1175-1 広瀬町字矢下1093 広瀬町字矢下1130	990901~000131	188.4 91.5 332.8 250.3	学術	溝 遺構なし 溝・礎石建物 南門
12次	2000	6AHI-CF 6AHE-B 6AID-C 6AID-D 6AID-E 6AID-H	広瀬町字中起1226 広瀬町字中起1229-1 広瀬町字荒子1018-1, 1020-1 広瀬町字荒子1017 広瀬町字荒子1016 広瀬町字荒子1013-1	001001~010311	207.9 138 259 95.1 155.8 287	学術	溝 遺構なし 竪穴住居・溝 掘立柱建物 掘立柱建物 掘立柱建物・溝
13次	2001	6AHD-AB 6AHD-C 6AHD-D	広瀬町字中起1240-3, 1237 広瀬町字中起1240-1, 2 広瀬町字中起1241	010920~020214	147 484.2 83	学術	溝 溝・土坑 溝・土坑
14次	2001	6AEB-AB	広瀬町字中土居1282-1	020106~020111	246	市緊急	礎石建物・溝
15次	2002	6AJJ-D 6ALC-D 6AJC-G 6AJE-C	広瀬町字矢下1154 西富田町字矢卸1015-8 広瀬町字矢下1125 広瀬町字矢下1120-1	020424~020812	563.5 486 65.7 68.9	学術	溝・土坑 溝・土坑・古墳・土坑墓 溝・土坑 溝
16次	2002	6AJF-B 6AJH-B 6AJH-D 6AKF-B 6AKG-C 6AKG-E 6AKI-B 6ALB-B 6AKF-A 6AKD-A 6AKC-D 6AJJ-F 6AJE-G 6ALD-C 6AJI-B 6AJF-G 6AKF-D 6AJI-E 6AKG-F 6ALC-E	広瀬町字矢下1152 広瀬町字矢下1079 広瀬町字矢下1077 西富田町字東起1333 西富田町字東起1359 西富田町字東起1362 西富田町字東起1407 西富田町字矢卸1015-5 西富田町字東起1335, 1336, 1337, 1344 西富田町字東起1355 西富田町字東起1322 広瀬町字矢下1162 広瀬町字矢下1101 西富田町字矢卸1015-12 広瀬町字矢下1114 広瀬町字矢下1146, 1147 西富田町字東起1332 広瀬町字矢下1109 西富田町字東起1360 西富田町字矢卸	020620~020925 020620~020831 020620~020831 020620~020831 020620~020831 020620~020831 020620~020831 020902~021212 020902~021202 021020~021205 021210~021225 021216~030314 021225~030324 030124~030326 030124~030320 030124~030324 030124~030321 030129~030225 030124~030320 030317~030320	205 164 198 211 94.8 114 118 522 548 166 44.3 53.3 204 203.6 166.1 91.6 51.2 213.2 90.4 5.9	市緊急	溝・土坑・小柱穴 溝・土坑 溝・小柱穴 土坑 掘立柱建物 土坑 土器棺墓 古墳周溝・溝・土坑 溝・土坑 土坑 溝・土坑 溝 溝 溝 溝・土坑 溝・小柱穴 小柱穴 土坑・溝 土坑・溝 土坑・溝 溝
17次	2002	6ADB-ABCDE	広瀬町字西野3300	020806~021130	4640	市緊急	掘立柱建物・溝・竪穴住居
合計					20829.7		

Ⅱ. 遺構と遺物

1. 基本層序

基本層序は以下の通りである

I層：表土・耕作土

II層：クロボク土

III層：漸移層

IV層：褐色砂質シルト層。いわゆる地山

V層：黄褐色砂質シルト層

VI層：砂礫混じり黄褐色砂質シルト層

2. 6ALC-D区 (Plate4)

この調査区は、政庁南門よりおよそ330m南に位置し、台地の辺縁部にあたる。遺構検出面はII層・III層が残存していなかったため、耕作土を0.2~0.3m除去した直下のIV層上面である。調査の結果、南北溝1条、古墳の周溝(矢下5号墳)、埋葬主体部、土坑墓5基、土坑4基などを検出した。

溝SD147 (Plate5) 調査区西側で検出された南北溝である。検出面での幅は、2.4~2.9m、深さ0.1~0.3m、延長およそ7mを測る。政庁の中軸線から内法で16.7mを測る。この溝は数度掘り直されており、形状は底面中央がやや高く、両サイドが深く掘りこまれており、道路の痕跡と考えられる。土師質の土器片や近世陶器片が出土している。土坑SK156に切られている。

周溝SD148・埋葬主体部SX157 (Plate6,8)

調査区中央において古墳の周溝南半分を検出した。矢下古墳群は4基の古墳の存在が知られる。1~3号墳は鈴鹿市内に所在し、4号墳は亀山市内に所在する。3号墳は道路によって半分が破壊されてしまったが、現存する。しかし1,2号墳はその正確な位置が不明であるため、今回検出された古墳は新たに確認された古墳として5号墳と命名した。検出面内法で直径およそ14mを測る。周溝は、幅0.95~3.8m、深さ0.1~0.7mを測り、南から西にかけて溝の幅が徐々に広くなり、かつ、深くなる。周溝西側では上層に墳丘側から崩れて流れ込んだ盛土と思われる黄褐色土・褐色土の混ざった層がみられる。この層は徐々に崩れ、流れ込んでいったというよりは一気に崩れ込んだように思われる。周溝内からは国府造営期に併行する時期の遺物やそれより新しい時期の遺物は見られないことから、早い時期に埋まっていたものと思われる。また、周溝内からは土師器・短頸壺2点と弥生土器片、石斧が出土している。

墳丘中央で一部拡張したところ埋葬施設と思われる東西約3m×南北約1mの埋葬主体部SX157が確認された。SX157は検出面から深さ2~10cmを測り、非常に残りが悪いなか、2地点からガラス玉・管玉がま

まって出土した(Plate8)。また、西側からは赤色顔料が集中的に検出され、わずかながら細かい土器片が出土している。

また、西側では小柱穴が周溝に沿って検出された。**土師器短頸壺**(4,5) 4は口径108mm、推定器高122mm、5は推定口径97mm、推定器高87mm。いずれも明赤褐色を呈し、体部外面はケズリ、内面はナデによる調整を施す。4はSD148の南東部、5は西部のほぼ周溝の底面から出土している。

磨製石斧(94) 両刃石斧。黒色粘板岩でややもろい。へき開に沿って割れており、使用中の破損と思われる。破損後、再研磨されている。

ガラス玉(21~93, Tab.5) 74点(破片2個体分含む)が出土した。5mmを境として、5mm以上の小玉(34点)、5mm以下の栗玉(40点)の2種類に分けることができる。製作技法も小玉は鋳型により、栗玉は引き伸ばし技法によって作られる。色は青、緑、黄色とバラエティーに富む。

管玉(16~20, Tab.4) 緑色凝灰岩製4点、碧玉製1点が出土した。2cmを超える16,17と1.5cm前後の19,20の2種類に分けられる。19,20は明らかに一方から穿孔するが、16,17は双方から穿孔している可能性がある。

弥生土器・壺(14) 推定口径204mm。口縁部のみ残存する。風化が著しく、調整は不明である。

土坑墓SX149 (Plate6)

土坑墓SX149は矢下5号墳の墳丘上、SX157の東側に隣接した位置で検出した。検出面で東西約0.9m、深さ0.4mを測る。北側が調査区外へと及ぶため、南北規模は1.7m以上である。直径1.1m程の円形の土坑SK160を切る。埋土からは2個体分の破碎された壺型土器片が掘り方に添うように並べられたような状態で出土した。

弥生土器・壺(7,8) 7は口縁から頸部にかけて約1/2が残存している。口縁部は板などの工具によって面取りをし、下半を指で押さえ波状にし、頸部は板ナデの後、細かい櫛によって横方向に調整する。8は体部上半が出土した。外面はハケによる調整後、撫で消し、4条の直線文を施し、赤色顔料を塗布する。内面はハケによる調整。

土坑SK150 (Plate7) 2.2m×1.6mの不整形の土坑である。中央やや北西より赤色顔料が少量ではあるが集中して検出された。

土坑墓SX151 (Plate7) 約3.5m×1.1m、深さ0.15~0.2mの土坑墓と考えられる。木棺のような痕

跡は確認できなかつた。少量の土器片が出土した。

弥生土器・壺 (13) 体部の一部のみ出土。ナデ調整の後、上半にはキザミを施した凸帯を4条巡らし、下半はハケによる調整を施す。内面はナデによる調整。

土坑墓 S X 1 5 3 (Plate5) 3.5m×0.6m、深さ0.15mを測る。SD147の西側で検出した。

弥生土器・壺 (10) 推定口径224mm。口縁内面は板ナデによる調整。頸部に直線文を施す。

土坑墓 S X 1 5 4・S X 1 6 1 (Plate6) 矢下5号墳の墳丘上、SX157の南東、SX149の南に隣接した位置で検出した。SX154は2.7m×0.8m、深さ約0.2mを測り、SX161と重複し、切り合い関係からSX161より新しい。SX161はおおよそ2.7m×1.1mを測る。

弥生土器・壺 (9, 15) 9は口縁端部はナデによる調整後、下半を指で強く押して波状にし、上半を指もしくは工具によっておさえ、粗い刻みをつくる。上箕田遺跡において類似した形状の壺が出土している。15はおそらく肩部の破片で、ナデ調整後、直線文、波状文、山形文を施す。

竪穴住居 S T 1 5 5 (Plate6) 西側半分を矢下5号墳によって壊されており、非常に浅く残りが悪い。支柱穴は確認できなかつたが、中央には炉跡と思われる焼土がみられる。

弥生土器・甕 (6) 小片で口径は復元できなかつた。口縁部にはキザミを施し、外面はハケによる調整、内面にはススが付着している。

3. 6 A J J - D 区 (Plate4)

この調査区は政庁南門よりおおよそ200mほど南に位置し、平成13年度末に行った分布調査では、この地区の周辺で須恵器、瓦片がわずかであるが採集されている。遺構の検出は、Ⅱ層は残存しておらず、耕作土を0.15~0.35m除去したⅢ層もしくはⅣ層上面で実施した。

調査の結果、南北溝2条、土坑2基、耕作溝7条が検出された。溝SD144・土坑SK145・土坑SK146は、完掘したが、溝SD166は一部断面観察のため掘削するに留めた。

調査区西半で検出された耕作溝が途切れるあたりに南北に連続する非常に浅い土坑状の痕跡が見られる。遺物も出土していないため、時期も性格も不明であるが、ほぼ政庁中軸線上にあたる。

溝 S D 1 4 4 (Plate9) 調査区の東側で検出した南北溝である。検出面での幅は0.7~1m、深さ0.15m、延長約15mを測り、方位はN1°Wを示す。少量の瓦(1)と小片ではあるが鬼瓦が出土した。政庁中軸線から芯芯間で29.7mを測る。

鬼瓦 (3) 上層出土。頬骨あたりか。過去の調査において鬼瓦は南野地区1点、長塚地区6点、荒子地区1

点出土しており、いずれも同範と考えられている。今回出土した鬼瓦の部位はこれまでに出土していないため、正確なことは不明であるが、範が異なる可能性が考えられる。

土坑 S K 1 4 5 (Plate9) SD144の東側で検出された。深さは約0.6mを測る。弥生土器片が数点出土した。

弥生土器・甕 (11, 12) 11は推定口径207mm。外面は縦方向にハケによる調整を施し、内面は上部のみに横方向にハケによる調整を施す。口縁端部は摩耗によりはつきりとしなが、キザミが施されていたと思われる。12は推定底径62mm。外面はハケによる調整。

土坑 S K 1 4 6 (Plate4) 1m×0.8m、深さ約0.1mを測る。非常に浅い不整形な土坑である。少量ながらも瓦(2)を含む。

溝 S D 1 6 6 (Plate10) 調査区西隅で南北に続く溝状の遺構を検出した。調査区外へ続く為、全容は不明である。

4. 6 A J E - C 区 (Plate11)

政庁南門からおおよそ110m程南に位置する。6 A L C - D 区調査区西で確認されたSD147の延長を確認するため、調査区を設けた。

この調査区でもⅡ層、Ⅲ層は残存してせず、耕作土を0.2~0.3m程除去したⅣ層上面で行った。その結果、工作機械による著しい攪乱のなか、南北溝SD164、SD165を確認した。政庁の中軸線からSD165まで内法でおおよそ13mの距離を測る。

溝 S D 1 6 4 幅0.4~0.5m、深さ0.1m、延長約4.5m、SD165とほぼ平行し、その距離は芯々間で3.2mを測る。

溝 S D 1 6 5 幅0.3~0.6m、深さ約0.1mを測る。かろうじて痕跡をとどめる状態であったため、一部土層を確認するため掘削するに留めた。

5. 6 A J C - G 区 (Plate11)

政庁南門より南へおおよそ30mに位置する。遺構の検出はⅡ層、Ⅲ層が残存していなかったため、耕作土を0.25~0.5m除去したⅣ層ないしⅤ層上面で行った。政庁に近接するため、何らかの遺構の検出を期待したが、調査地が植木の栽培地であったため、約0.5m程攪乱されており、土坑1基、溝1条を検出することどまった。

土坑 S K 1 6 2 1.3m×1m以上、深さ約0.4mを測る。調査区外へと続くため、全体の規模は不明である。土坑と考えたが、溝の端部の可能性も考えられる。遺物は見られなかつた。

溝 S D 1 6 3 幅0.2~0.3m延長3.3mを測る。途中1m程途切れる。近世陶器片を含んでいる。後世の地境の溝と思われる。

Ⅲ. まとめ

これまで、昭和21年極東米軍撮影による航空写真に政庁から南の台地の先端に向かって続く道がみられることや、切り通しとおぼしき地形をみてとることができることなどから、政庁から南へと続く道路の存在が考えられてきた。今回、その道路を想定して、調査区を設けた。

調査の結果、6AJJ-D区東では南北溝SD144、西では溝状遺構SD166、6ALC-D区西では南北溝SD147、6AJE-C区南北溝SD164、SD165を検出した。6AJJ-D区で検出した南北溝SD144は少量ながらも主に瓦片を含むことから国府が営まれていた時期に掘削されたと考えられる。しかし、政庁中軸線より東へおよそ30mを測り、道路の側溝とは考えがたく、また、16次調査の際、SD144の延長が確認できなかったことから、何らかの施設の周りに巡る区画溝、もしくは、建物の周囲に巡る溝の可能性が考えられる。

6ALC-D区南北溝SD147、6AJJ-D区溝状の遺構SD166、6AJE-C区南北溝SD164、SD165は政庁中軸線から13～16.7mを測り、これらは一連のもので、航空写真にみられる政庁から南へと続く道とほぼ同じ位置に当たり、その道路の痕跡であると考えられる。この溝が掘削された時期は出土した遺物に細片が多く、また、国府造営時の遺物を含んでいないため、この溝（道）が朱雀大路の側溝であるとは言えないが、踏襲して再掘削された可能性は考えられる。

また、航空写真には今回確認された矢下5号墳と思われる高まりがみてとれる。周溝内からは国府造営時期やそれ以降の遺物は見られず、周溝は早くに埋まったと考えられるが、国府が造営された際に古墳の墳丘は完全に削平されていなかった可能性も考えられる。

その他、過去の調査では、これまで国府造営以前の遺物が若干出土していたが、遺構は確認されていなかった。長者屋敷遺跡より下流の鈴鹿川左岸の台地上には弥生時代中期から後期にかけての遺跡が多く分布しており、今回の調査で、同様に台地上に弥生時代の遺構が分布することが確認された。

[参考文献]

- 宇河雅之1996「長者屋敷遺跡」『長者屋敷遺跡・峯城跡・中富田西浦遺跡』三重県埋蔵文化財文化財センター
- 宇河雅之1997「伊勢国府の方格地割」『研究紀要第6号』三重県埋蔵文化財文化財センター
- 辻公則1996「国府政庁の規格性～近江国・伊勢国について～」『鈴鹿市埋蔵文化財年報Ⅲ』鈴鹿市教育委員会
- 新田剛1999『伊勢国府跡』鈴鹿市教育委員会
- 新田剛2000『伊勢国府跡2』鈴鹿市教育委員会
- 新田剛2001『伊勢国府跡3』鈴鹿市教育委員会
- 山中敏史1994『古代地方官衙遺跡の研究』塙書房
- 山本保志1995「長者屋敷遺跡（伊勢国府跡）第3次調査」『伊勢国分寺・国府跡2』鈴鹿市教育委員会

Tab. 4 管玉観察表

図版番号	出土地点	石材	色調	最大径mm	長さmm	重さg	穿孔方法
16	SW①	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	6.28	22.44	1.042	双方？
17	NW②	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	6.1	22.28	1.078	双方？
18	NW③	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	6.17	14.1	0.723	一方
19	排土	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	5.71	15.5	0.414	一方
20	排土	碧玉	3G2.0/1.5	7.63	18.8	1.975	一方

Tab. 5 ガラス玉観察表

図版番号	出土地点	色調	最大径 mm	最小径 mm	厚さ mm	重さ mm	製作技法	図版番号	出土地点	色調	最大径 mm	最小径 mm	厚さ mm	重さ mm	製作技法
21	NE A	5B2.5/4.5・透明	5.71	—	4.09	0.194	鑄型	58	SW	3G5.0/9.0・不透明	3.27	3.23	2.65	0.042	引き伸ばし
22	NE B	5B2.5/4.5・透明	6.30	6.10	4.10	0.214	鑄型	59	SW	8GY4.5/9.0・不透明	3.46	3.27	1.42	0.023	引き伸ばし
23	NE C	5B2.5/4.5・透明	6.25	6.20	4.30	0.229	鑄型	60	SW	5B4.0/8.5・透明	2.78	2.72	2.55	0.032	引き伸ばし
24	NE D	5B2.5/4.5・透明	6.22	6.18	3.90	0.207	鑄型	61	SW	5BG6.0/5.0・不透明	3.73	3.63	2.20	0.048	引き伸ばし
25	NE E	5B2.5/4.5・透明	5.60	5.58	3.81	0.171	鑄型	62	SW	5BG6.0/5.0・不透明	3.13	3.10	3.20	0.043	引き伸ばし
26	NE F	5B2.5/4.5・透明	5.71	5.61	3.72	0.16	鑄型	63	SW	5BG6.0/5.0・不透明	4.50	3.89	1.73	0.043	引き伸ばし
27	NE G	5B2.5/4.5・透明	6.01	5.91	4.23	0.212	鑄型	64	SW	5BG6.0/5.0・不透明	3.38	3.20	1.80	0.03	引き伸ばし
28	NE H	5BG4.5/5.0・不透明	4.70	4.32	2.62	0.076	引き伸ばし	65	SD158(SU157N)	5BG6.0/5.0・不透明	3.31	3.29	2.40	0.037	引き伸ばし
29	NE I	5B2.5/4.5・透明	6.40	6.31	4.01	0.226	鑄型	66	SD158(SU157N)	8GY4.5/9.0・不透明	4.04	3.57	2.84	0.052	引き伸ばし
30	NE J	5BG4.5/5.0・不透明	5.85	5.70	4.22	0.185	鑄型	67	SD158(SU157N)	3G4.0/8.5・不透明	3.44	3.34	2.30	0.038	引き伸ばし
31	NW K	5BG6.0/5.0・不透明	3.30	2.92	2.70	0.035	引き伸ばし	68	SD158	5BG4.5/5.0・不透明	3.77	3.75	2.48	0.049	引き伸ばし
32	NW L	5BG6.0/5.0・不透明	3.55	3.45	2.90	0.045	引き伸ばし	69	SD158	5BG6.0/5.0・不透明	3.65	3.60	2.35	0.043	引き伸ばし
33	NW M	8GY4.5/9.0・不透明	4.18	3.95	3.18	0.072	引き伸ばし	70	SD158	8GY5.5/9.5・不透明	3.42	3.35	2.35	0.037	引き伸ばし
34	NW N	5BG6.0/5.0・不透明	3.53	3.30	2.11	0.034	引き伸ばし	71	SD158	5BG6.0/5.0・不透明	3.12	3.05	2.00	0.029	引き伸ばし
35	NW O	8GY4.5/9.0・不透明	3.13	2.92	2.02	0.029	引き伸ばし	72	排土	5B2.5/4.5・透明	6.31	6.28	3.90	0.215	鑄型
36	NW P	8GY4.5/9.0・不透明	4.00	3.90	2.32	0.053	引き伸ばし	73	排土	5B2.5/4.5・透明	7.37	7.16	4.10	0.309	鑄型
37	NW Q	8GY4.5/9.0・不透明	3.71	3.48	2.00	0.031	引き伸ばし	74	排土	5B2.5/4.5・透明	6.32	6.18	3.89	0.217	鑄型
38	NW R	8GY4.5/9.0・不透明	3.19	3.08	2.28	0.033	引き伸ばし	75	排土	5B2.5/4.5・透明	7.18	7.09	4.21	0.317	鑄型
39	NW S	8GY4.5/9.0・不透明	2.91	2.88	1.96	0.023	引き伸ばし	76	排土	5BG4.5/5.0・不透明	5.90	5.77	4.53	0.227	鑄型
40	NW T	8GY4.5/9.0・不透明	2.79	2.75	1.38	0.014	引き伸ばし	77	排土	5BG4.5/5.0・不透明	5.88	5.78	4.32	0.213	鑄型
41	NW ②層	3G4.0/8.5・不透明	4.50	4.26	2.82	0.077	引き伸ばし	78	排土	5BG4.5/5.0・不透明	5.72	5.63	4.88	0.229	鑄型
42	NW ②層	8GY4.5/9.0・不透明	3.82	3.30	2.05	0.032	引き伸ばし	79	排土	5BG4.5/5.0・不透明	5.82	5.71	4.38	0.212	鑄型
43	NW ②層	8GY4.5/9.0・不透明	3.90	—	1.65	0.034	引き伸ばし	80	排土	8GY4.5/9.0・不透明	2.81	2.76	1.81	0.022	引き伸ばし
44	NW ②層	8GY4.5/9.0・不透明	3.78	3.35	1.60	0.029	引き伸ばし	81	排土	5Y7.5/11.0・不透明	5.48	5.39	3.17	0.185	引き伸ばし
45	NW ②層	5BG6.0/5.0・不透明	3.39	3.12	1.55	0.021	引き伸ばし	82	排土	5B2.5/4.5・透明	6.48	6.30	3.89	0.224	鑄型
46	NW ②層	5BG6.0/5.0・不透明	3.34	3.20	1.45	0.022	引き伸ばし	83	排土	5B2.5/4.5・透明	6.30	6.29	3.92	0.224	鑄型
47	NW ②層	5BG6.0/5.0・不透明	3.00	2.90	2.40	0.031	引き伸ばし	84	排土	5B2.5/4.5・透明	6.02	5.98	4.18	0.212	鑄型
48	NW ②層		2.60	—	1.52	0.014	引き伸ばし	85	排土	5B2.5/4.5・透明	5.98	5.88	3.69	0.181	鑄型
49	NW ②層	8GY4.5/9.0・不透明	4.80	4.56	3.07	0.107	引き伸ばし	86	排土	5B2.5/4.5・透明	5.60	—	3.49	0.16	鑄型
50	NW ②層	8GY4.5/9.0・不透明	4.39	4.29	3.28	0.092	引き伸ばし	87	排土	5BG4.5/5.0・不透明	5.72	5.67	4.47	0.205	鑄型
51	NW ②層	8GY4.5/9.0・不透明	4.00	3.82	2.71	0.062	引き伸ばし	88	排土	5B2.5/4.5・透明	7.13	7.02	3.93	0.282	鑄型
52	NW ①層	5B7.0/5.0・透明	2.75	2.66	1.65	0.02	引き伸ばし	89	排土	5B2.5/4.5・透明	7.20	7.12	3.63	0.267	鑄型
53	NW 検出	5BG6.0/5.0・不透明	3.22	3.10	2.68	0.032	引き伸ばし	90	排土	5B2.5/4.5・透明	6.00	5.92	4.50	0.227	鑄型
54	NW ④層	5BG6.0/5.0・不透明	4.00	3.75	2.90	0.063	引き伸ばし	91	排土	5B2.5/4.5・透明	5.71	5.66	4.33	0.209	鑄型
55	NW	5B2.5/4.5・透明	6.00	5.95	4.30	0.22	鑄型	92	排土	5B2.5/4.5・透明	5.71	5.50	4.28	0.21	鑄型
56	SE ②層	5B2.5/4.5・透明	6.90	6.82	4.35	0.3	鑄型	93	排土	5B2.5/4.5・透明	—	—	4.17	0.109	鑄型
57	SW	8GY4.5/9.0・不透明	3.29	2.80	3.18	0.076	引き伸ばし	—	排土	5B2.5/4.5・透明	—	—	—	—	—

出土地点は、土層観察のために4分割した区割のうち北西をNW、北東をNE、南西をSW、南東をSEとした。
出土地点A~TはPlate8の出土状況の図に対応する。

Ise Kokufu Site –Preliminary Report No.5–

Contents

Introductory remarks

Chapter I Introduction	1	Chapter III Conclusions	4
Chapter II Structural features and artifacts	2	English table of contents and summary	6

Tables

1. Seat and area of excavation		4. Cylindrical beads	4
2. Structural features		5. Glass beads	5
3. Excavation projects	1	6. Abstract	29

Plates

1. Location of site around of Ise Kokufu Site	7	15. View of provincial government center area / Aerial view of 6ALC-D / Ditch(SD148) / Section of ditch(SD148) / Section of ditch(SD148) / Section of ditch(SD148) / Pit burial(SX157) / Cylindrical bead found at SX157	23
2. Location of excavation area	8	16. Artifacts found at SD148 / Pit burial(SX149) and pit(SK160) / Artifacts found at SX149 / Artifacts found at SX149 / Pit(SK150) and pit burial(SX151) / Pit burial(SX153) / Pit burial(SX154 and SX161) / Pit dwelling(ST155)	24
3. Location of excavation area	9	17. Ditch(SD147) and Pit(SK156) / Section of ditch(SD147) / Section of pit(SK156) / Aerial view of 6AJJ-D / Aerial view of 6AJJ-D / Goblin shaped ornamental ridged-end tile found at SD144 / Pit(SK145) / Pit(SK146)	25
4. Features of 6AJJ-D and 6ALC-D	11	18. Ditches(SD164 and SD165) / Section of ditch(SD164) / Ditch(SD163) / Pit(SK162) / Excavation at 6AJJ-D / Excavation at 6ALC-D / Conference of supervisors / Public site viewing	26
5. Plan and section of ditch(SD147), pit burial(SX153) and pit(SK156)	13	19. Artifacts	27
6. Plan and section of ditch(SD148), pit burial(SX149, SX154 and SX161), pit dwelling(ST155) and pit(SK156)	14	20. Artifacts	28
7. Plan and Section of pit(SK150) and Pit burial(SX151) / Plan of pit(SK152)	15		
8. Plan and Section of pit(SK157) / Cylindrical beads and glass beads found at SX157	16		
9. Plan and section of ditch(SD144) / Plan of pit(SK145)	17		
10. Plan and section of ditch(SD166 and farming ditches)	18		
11. Features of 6AJC-G and 6AJE-C / Section of pit(SK162) and ditches(SD164 and SD165)	19		
12. Artifacts	20		
13. Artifacts	21		
14. Artifacts	22		

Colour Plates

1. Aerial view of 6ALD-C / Aerial view of ditches(SD144)
2. Aerial view of 6AJE-C / Aerial view of 6AJC-G
3. Glass beads found at SX157 / Cylindrical beads and glass beads found at SX157
4. Cylindrical beads and glass beads

Summary

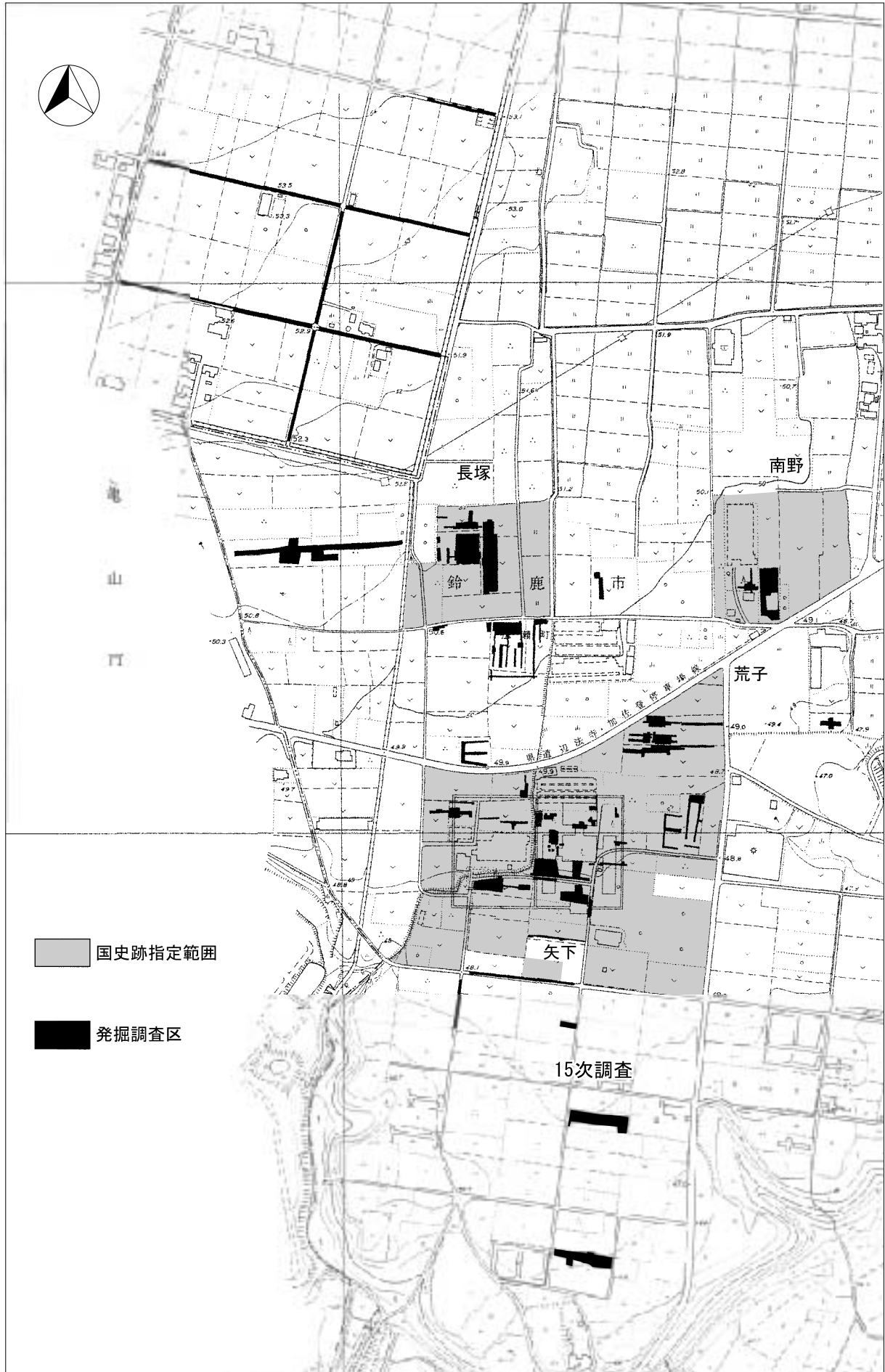
This report summarizes the excavation of Ise Kokufu site, also called Choja-yashiki site, in the 2002 Fiscal year. This site is located at the left terrace of the Anraku River and annexed to Hirose-cho and Nisitomida-cho, Suzuka City, Mie Prefecture, Japan. It was been excavated since the 1992 fiscal year by the staff of the Suzuka city board of education and they found the provincial government center(*kokucho* 国庁) and the other governmental offices(*zoshi* 曹司) in the Nara period. In result, Ise kokufu site was designated a national historic site in March 19,2002.

In the 15th investigation, mounted tomb named Yaoroshi 5th tomb were discovered at area of 6ALC-D. Among the mortuary goods were glass beads and cylindrical beads. Ditch(SD144) were discovered at area of 6AJJ-D. Goblinshaped ornamental ridged-end tile found at ditch(SD144). However, no structural remains of unexpected of Suzaku-ji avenue.

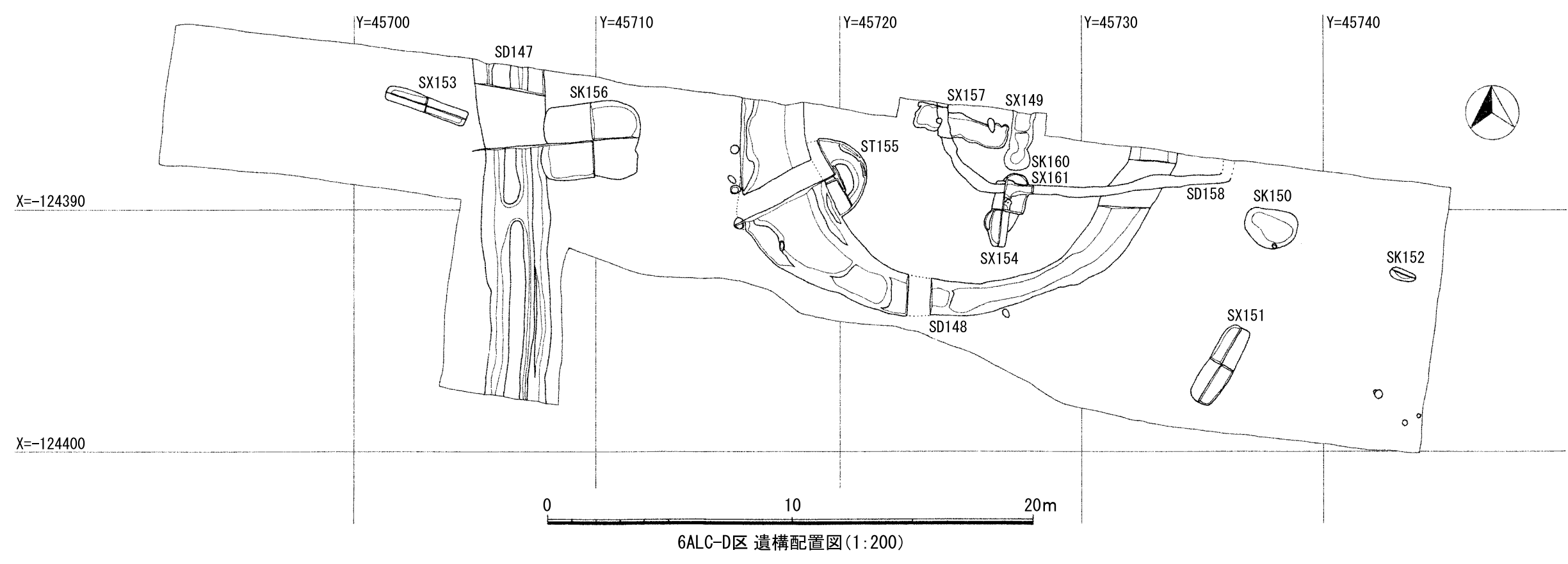
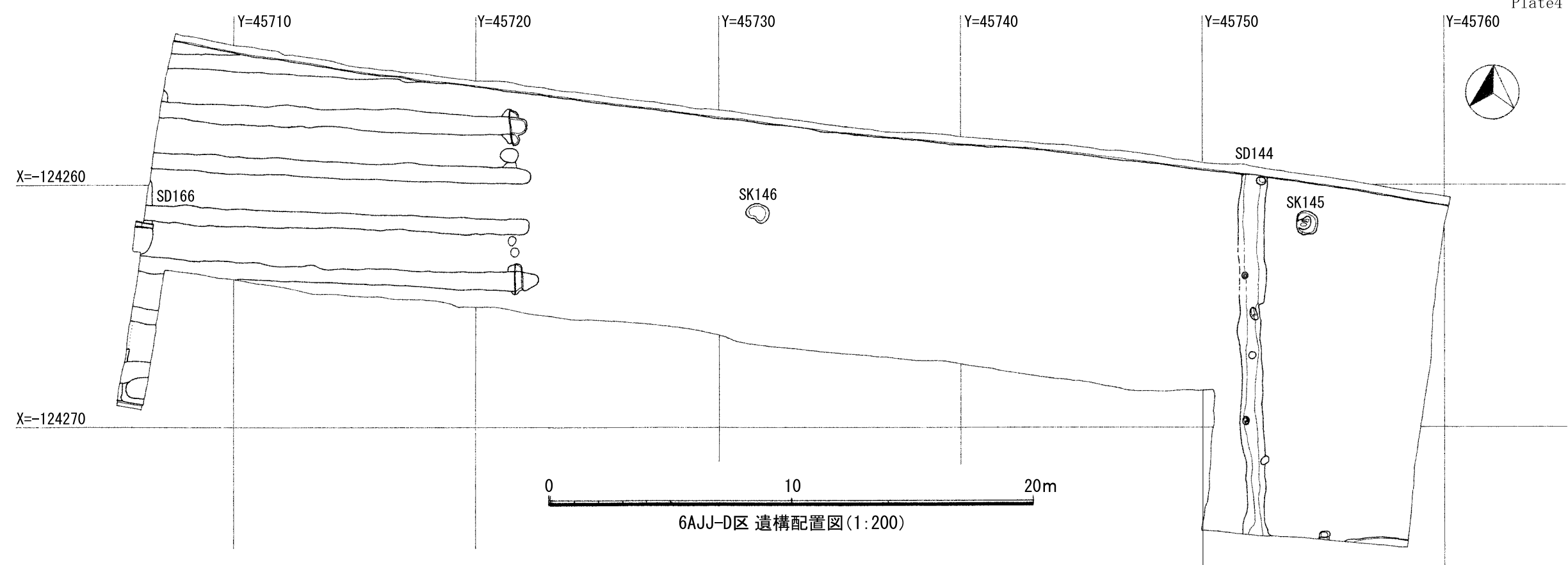


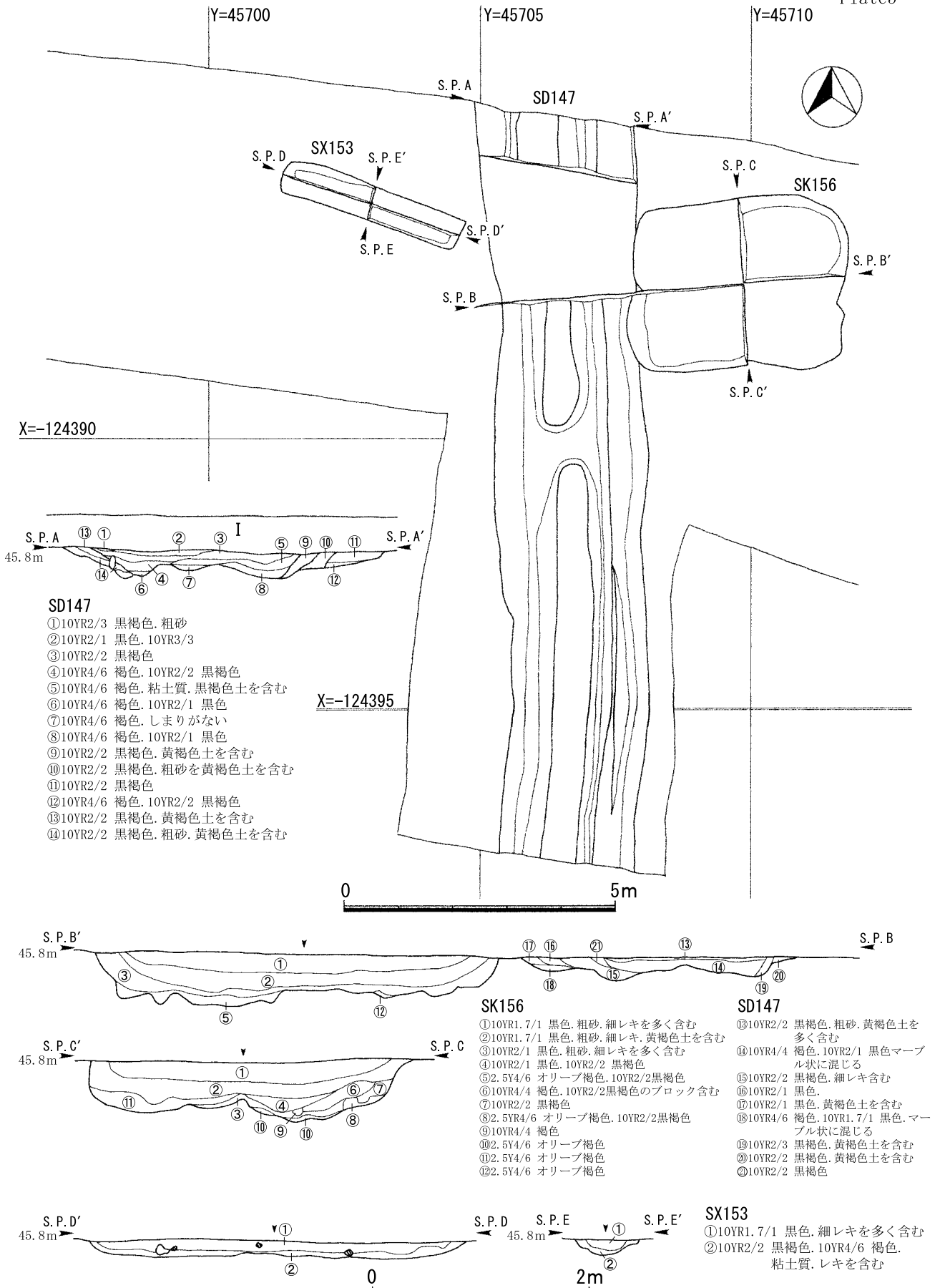
- 1. 伊勢国府跡 (長者屋敷遺跡)
- 2. 観音沖遺跡
- 3. 推定鈴鹿関跡
- 4. 切山瓦窯跡
- 5. 古厩遺跡
- 6. 大鼻遺跡
- 7. 八野遺跡・八野瓦窯跡
- 8. 国府A遺跡
- 9. 三宅神社遺跡
- 10. 天王山西遺跡
- 11. 津賀平遺跡
- 12. 岡田遺跡
- 13. 川原井瓦窯跡
- 14. 山の原遺跡
- 15. 山辺瓦窯跡
- 16. 須賀遺跡
- 17. 天王遺跡
- 18. 伊勢国分寺跡 (推定僧寺跡)
- 19. 狐塚遺跡 (河曲郡衙跡)
- 20. 国分遺跡 (推定尼寺跡)
- 21. 木田坂上遺跡
- 22. 寺山遺跡

周辺の遺跡(1:100,000)



調査区位置図(1:5,000)





X=-124390

X=-124395

SD147

- ①10YR2/3 黒褐色. 粗砂
- ②10YR2/1 黒色. 10YR3/3
- ③10YR2/2 黒褐色
- ④10YR4/6 褐色. 10YR2/2 黒褐色
- ⑤10YR4/6 褐色. 粘土質. 黒褐色土を含む
- ⑥10YR4/6 褐色. 10YR2/1 黒色
- ⑦10YR4/6 褐色. しまりがない
- ⑧10YR4/6 褐色. 10YR2/1 黒色
- ⑨10YR2/2 黒褐色. 黄褐色土を含む
- ⑩10YR2/2 黒褐色. 粗砂を黄褐色土を含む
- ⑪10YR2/2 黒褐色
- ⑫10YR4/6 褐色. 10YR2/2 黒褐色
- ⑬10YR2/2 黒褐色. 黄褐色土を含む
- ⑭10YR2/2 黒褐色. 粗砂. 黄褐色土を含む

SK156

- ①10YR1. 7/1 黒色. 粗砂. 細レキを多く含む
- ②10YR1. 7/1 黒色. 粗砂. 細レキ. 黄褐色土を含む
- ③10YR2/1 黒色. 粗砂. 細レキを多く含む
- ④10YR2/1 黒色. 10YR2/2 黒褐色
- ⑤2. 5Y4/6 オリーブ褐色. 10YR2/2黒褐色
- ⑥10YR4/4 褐色. 10YR2/2黒褐色のブロック含む
- ⑦10YR2/2 黒褐色
- ⑧2. 5Y4/6 オリーブ褐色. 10YR2/2黒褐色
- ⑨10YR4/4 褐色
- ⑩2. 5Y4/6 オリーブ褐色
- ⑪2. 5Y4/6 オリーブ褐色
- ⑫2. 5Y4/6 オリーブ褐色

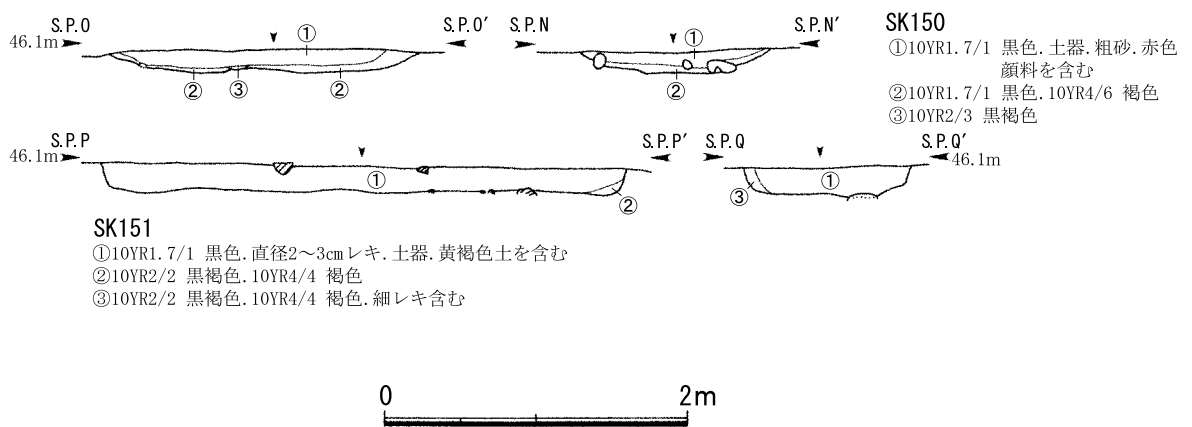
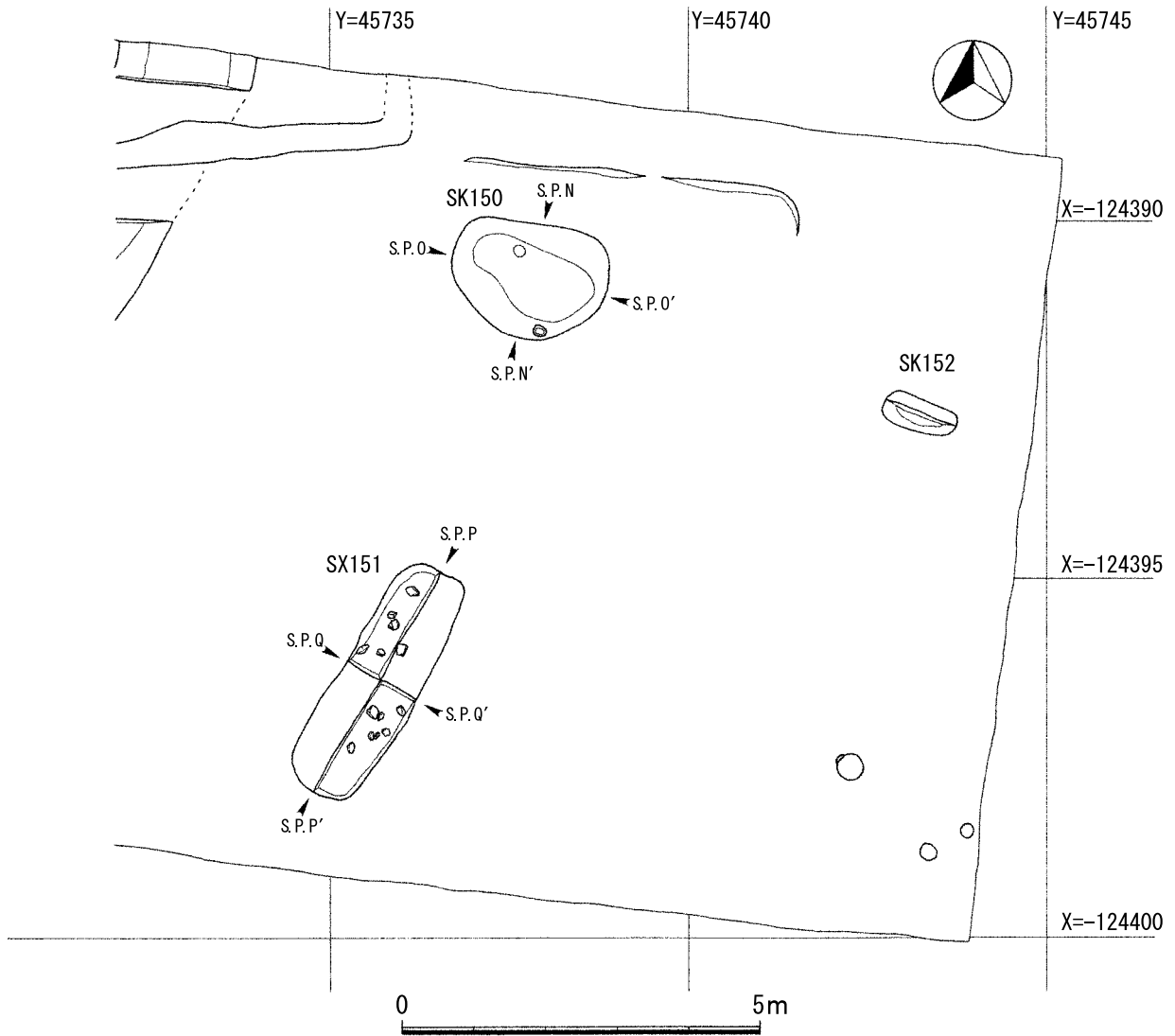
SD147

- ⑬10YR2/2 黒褐色. 粗砂. 黄褐色土を多く含む
- ⑭10YR4/4 褐色. 10YR2/1 黒色マーブル状に混じる
- ⑮10YR2/2 黒褐色. 細レキ含む
- ⑯10YR2/1 黒色
- ⑰10YR2/1 黒色. 黄褐色土を含む
- ⑱10YR4/6 褐色. 10YR1. 7/1 黒色. マーブル状に混じる
- ⑲10YR2/3 黒褐色. 黄褐色土を含む
- ⑳10YR2/2 黒褐色. 黄褐色土を含む
- ㉑10YR2/2 黒褐色

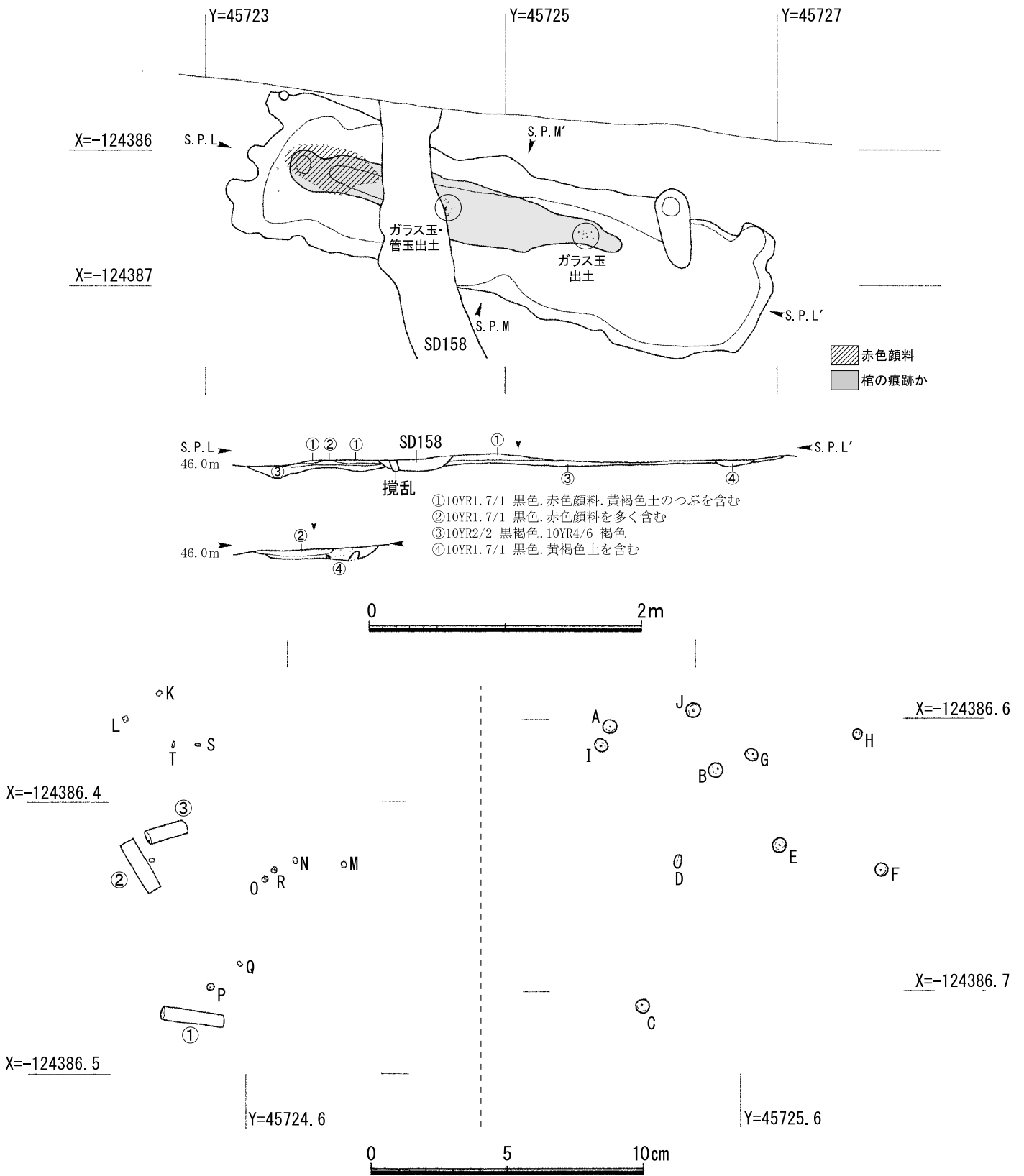
SX153

- ①10YR1. 7/1 黒色. 細レキを多く含む
- ②10YR2/2 黒褐色. 10YR4/6 褐色. 粘土質. レキを含む

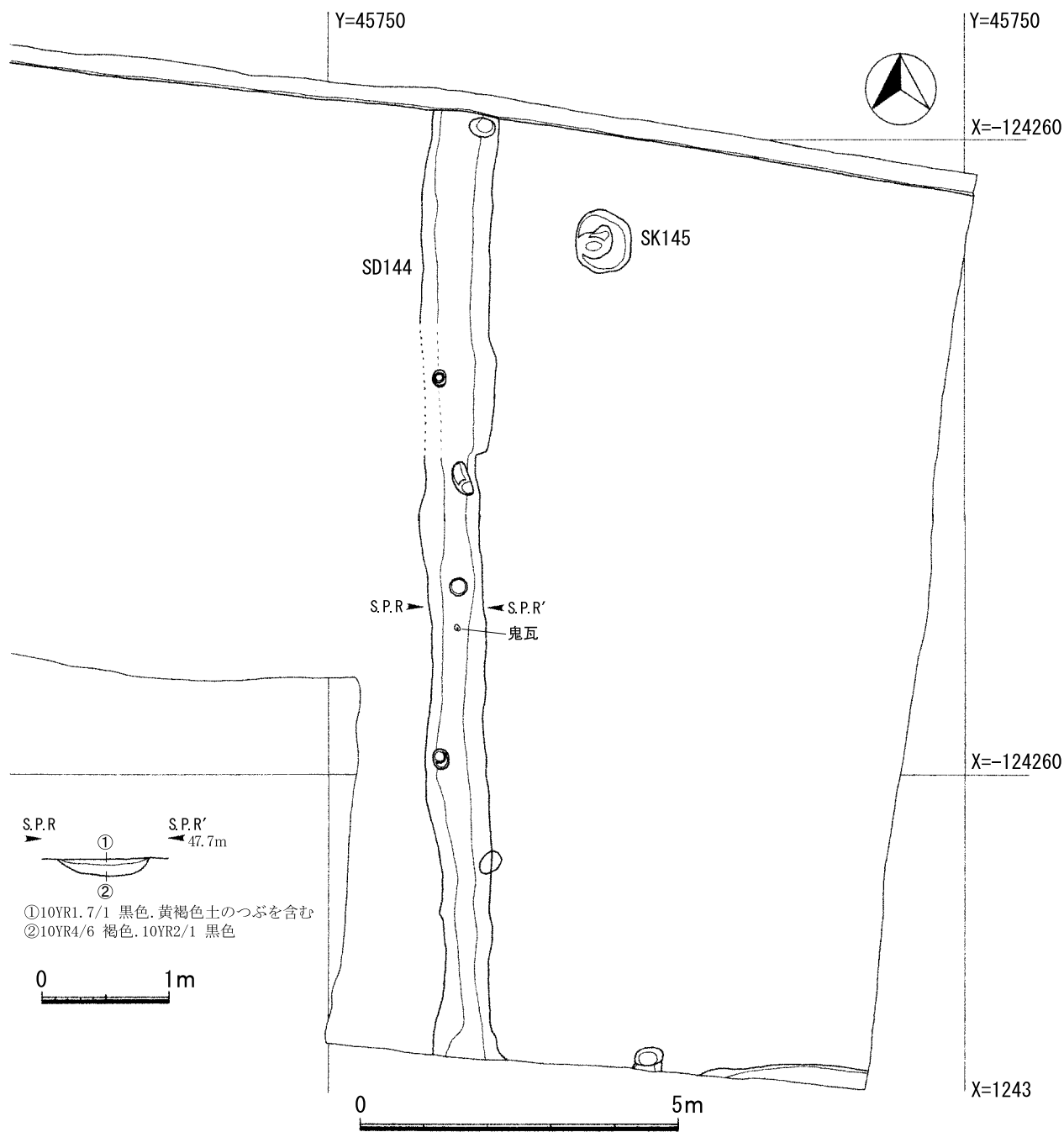
6ALC-D区 SD147・SX153・SK156平面図(1:100) 断面図(1:50)



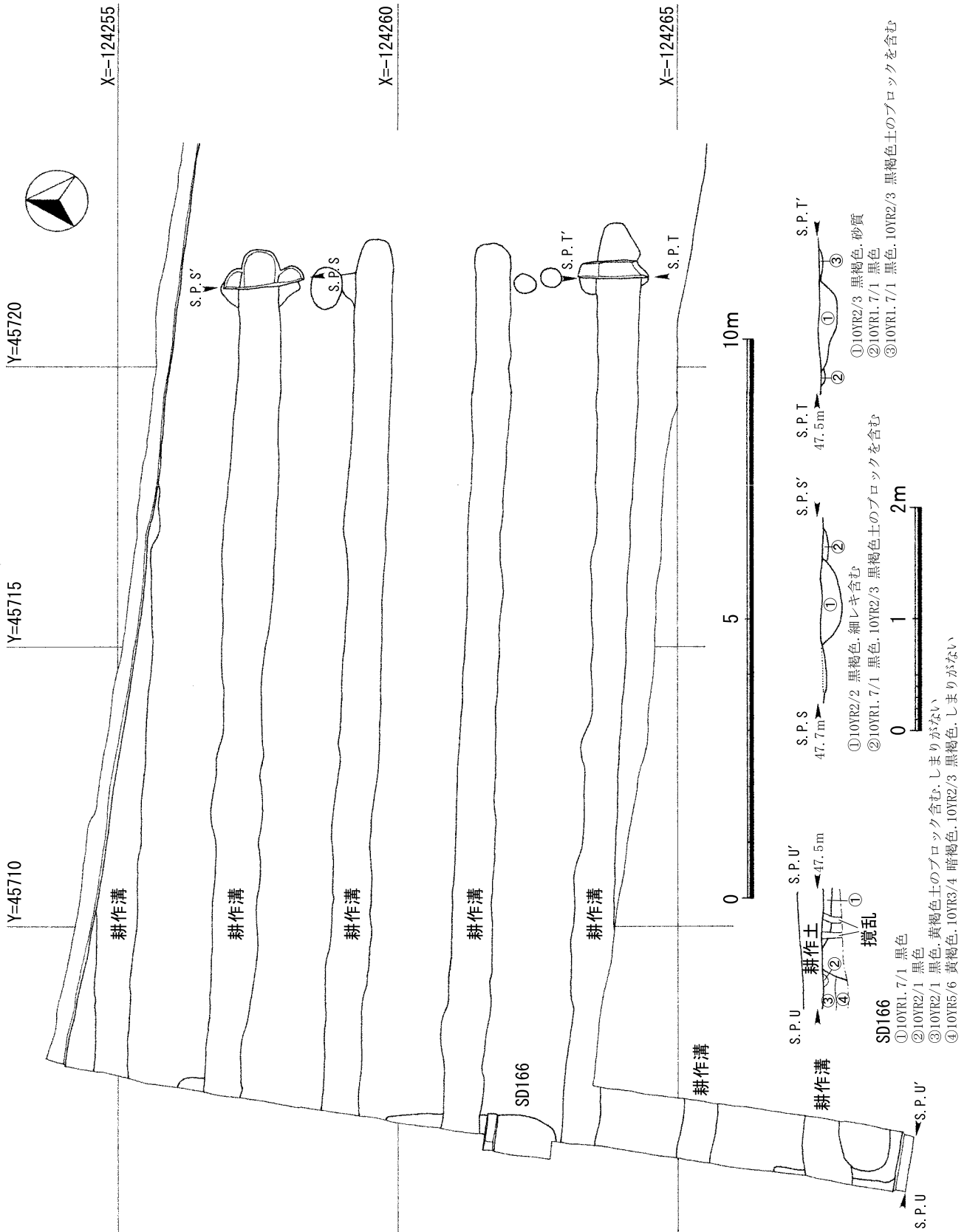
6ALC-D区 SK150・SX151・SK152平面図(1:100) SK150・SX151断面図(1:50)



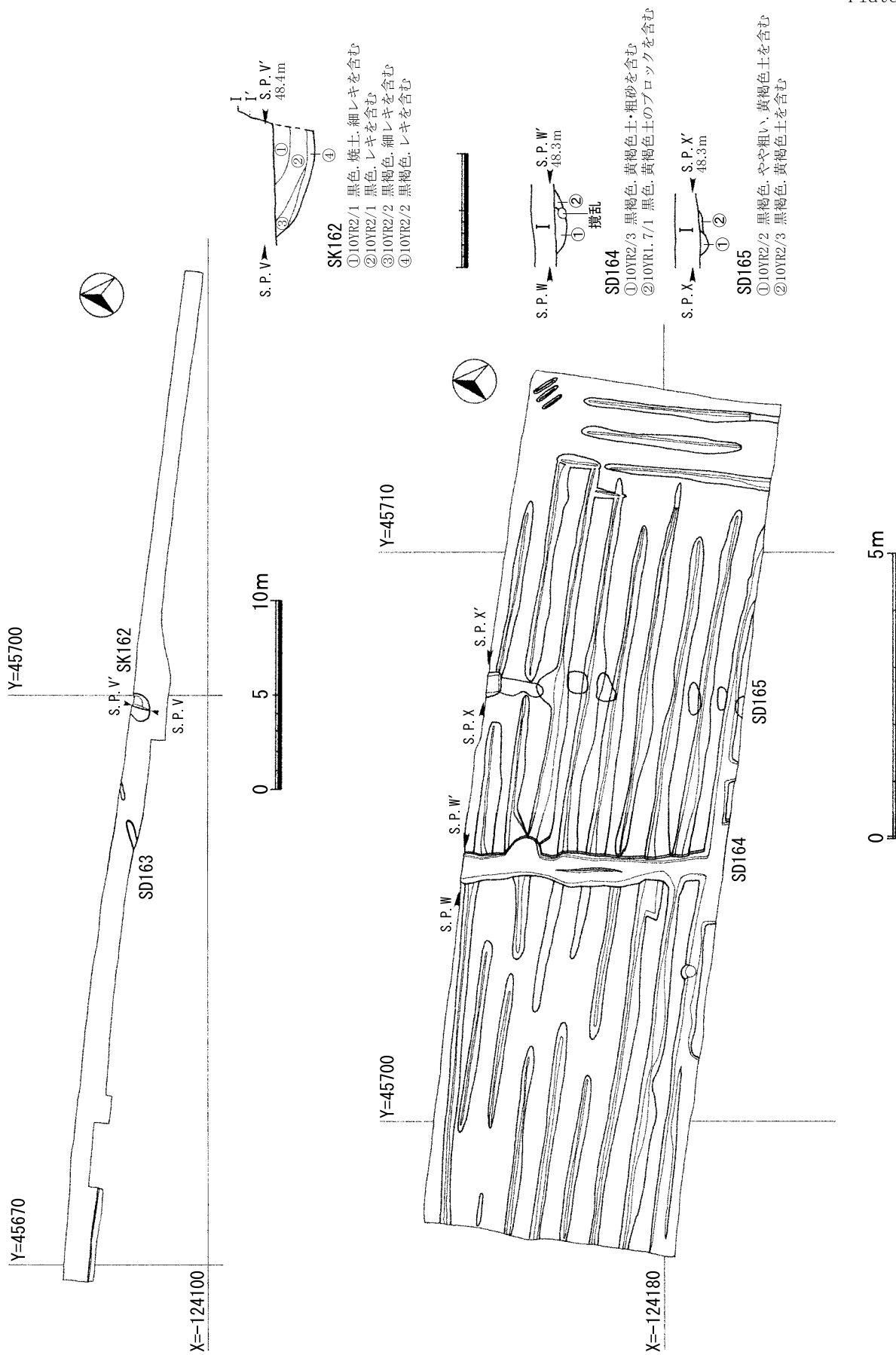
6ALC-D区 SX157平面図・断面図(1:40)
SX157 管玉・ガラス玉出土状況(1:2)



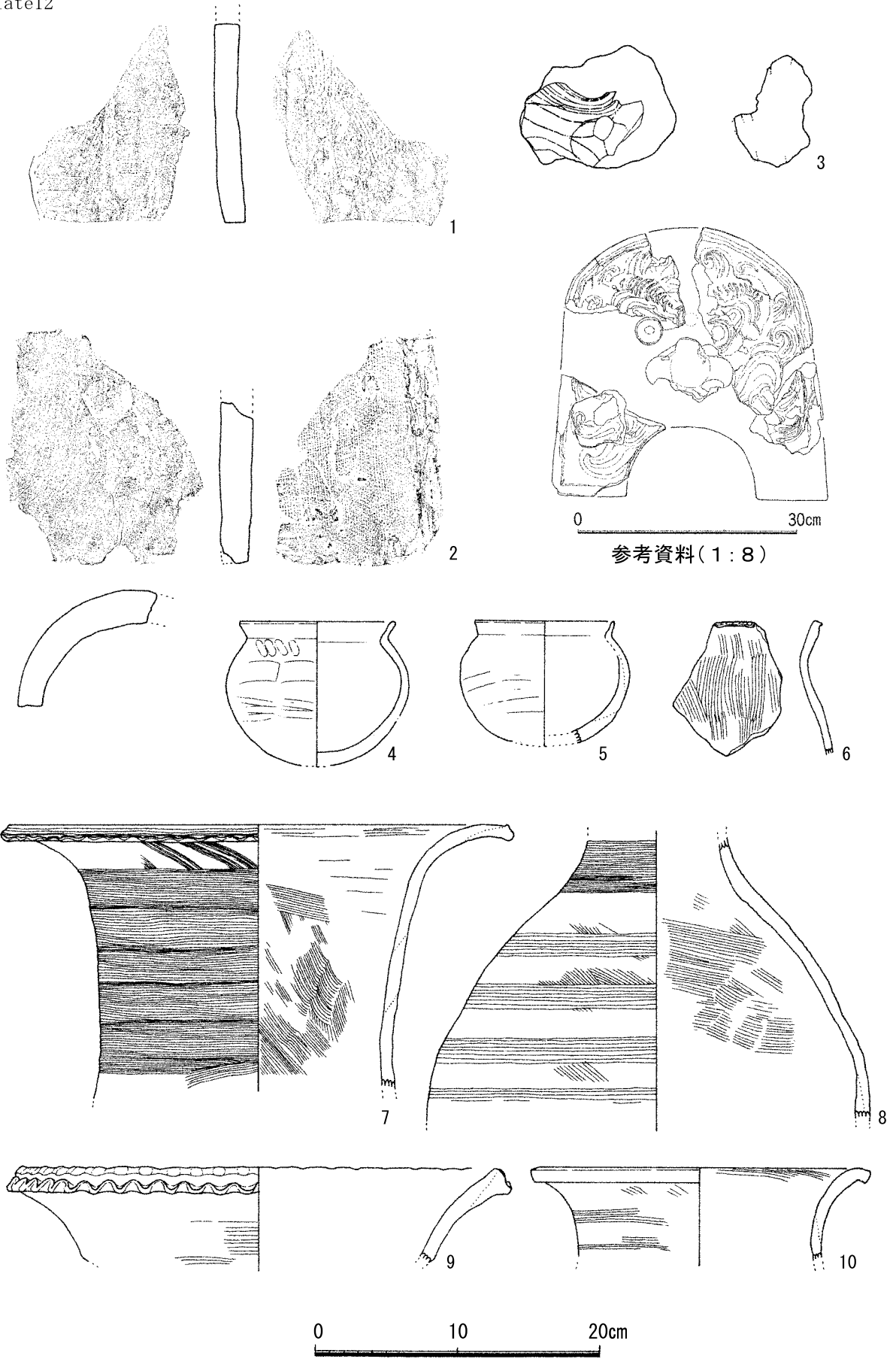
6AJJ-D区 SD144・SK145平面図(1:100)
SD144断面図(1:50)



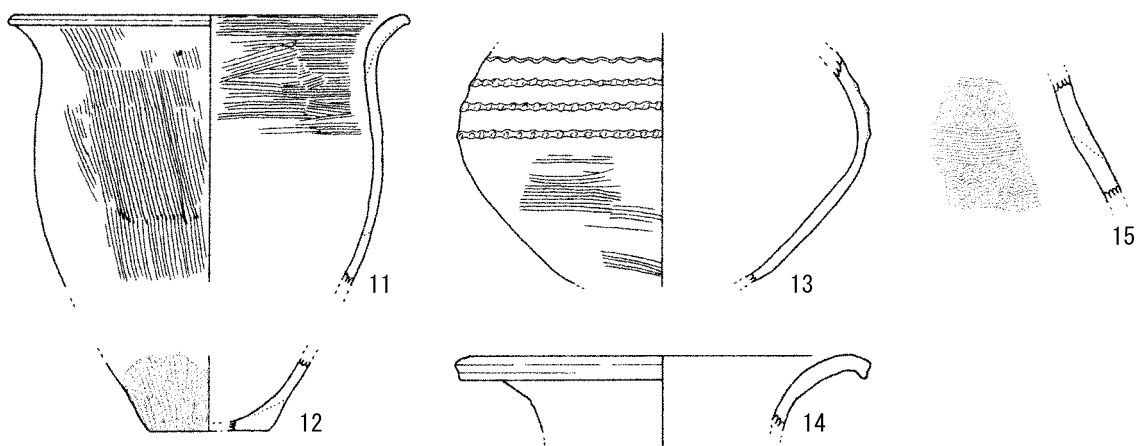
6AJJ-D区 SD166・耕作溝平面図(1:100), 断面図(1:50)



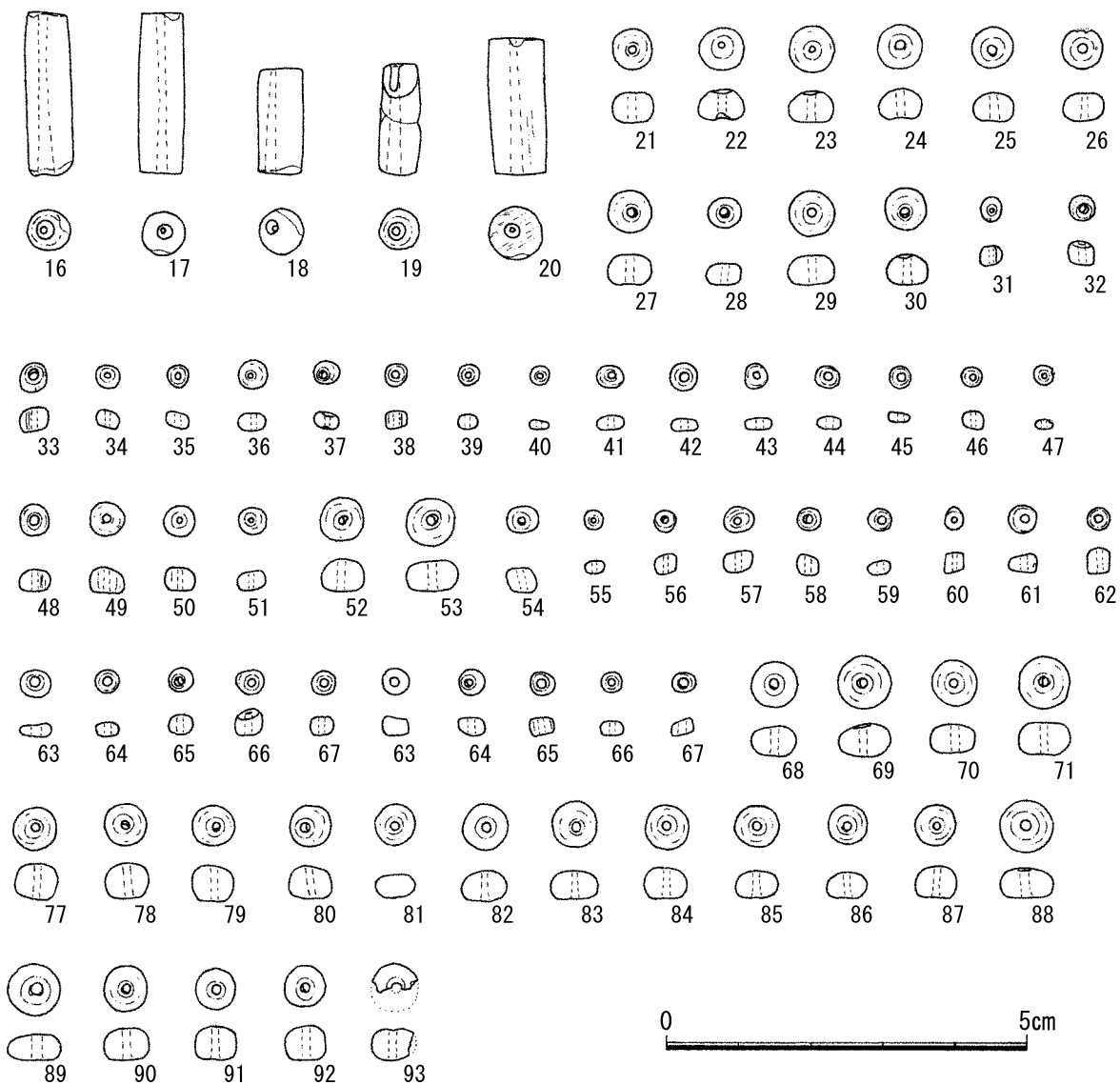
6AJC-G区 平面図(1:300) SK162断面図(1:50)
6AJE-C区 平面図(1:100) SD164・SD165断面図(1:50)



6AJJ-D区・6ALC-D区 出土遺物(1:4)

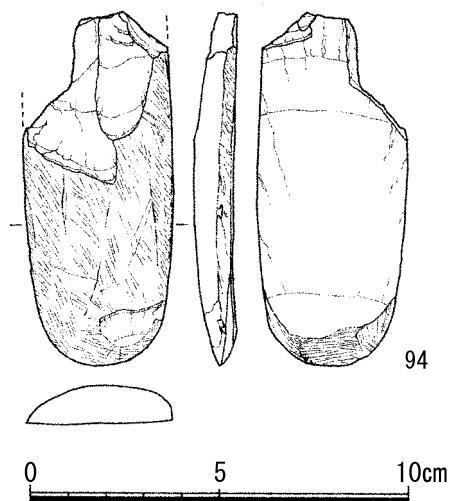


0 10 20cm



0 5cm

6AJJ-D区・6ALC-D区 出土遺物(1:4) ガラス玉・管玉(1:1)



6ALC-D区 SD148出土石斧(1:2)



6ALC-D区より政庁を望む(南から)



6ALC-D区(北東から)



6ALC-D区 SD148 検出状況(南西から)



6ALC-D区 SD148 西断面(南から)



6ALC-D区 SD148 南西断面(南東から)



6ALC-D区 SD148 西断面(南から)



6ALC-D区 SX157 検出状況(北から)



6ALC-D区 SX157 管玉出土状況(南から)



6ALC-D区 SD148 土師器・短頸壺出土状況(南から)



6ALC-D区 SX149・SK160(南から)



6ALC-D区 SX149 中層 遺物出土状況(西から)



6ALC-D区 SX149 下層 遺物出土状況(西から)



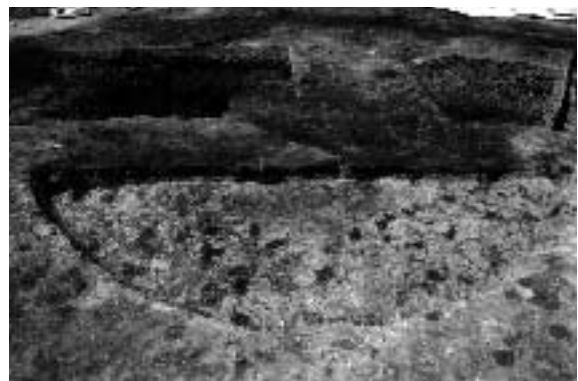
6ALC-D区 SK150・SX151 検出状況(南から)



6ALC-D区 SX153 検出状況(西から)



6ALC-D区 SX154・SX161 検出状況(東から)



6ALC-D区 ST155(東から)



6ALC-D区 SD147・SK156 検出状況(南から)



6ALC-D区 SD147 断面(南から)



6ALC-D区 SK156 断面(東から)



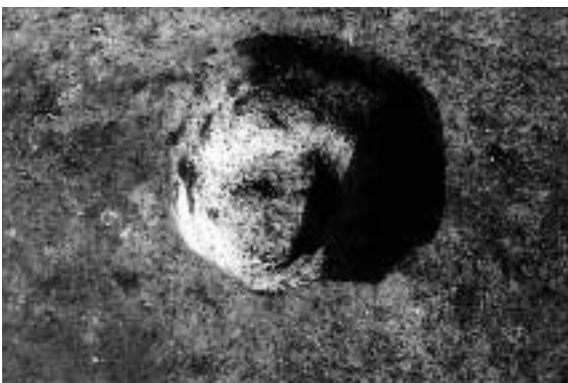
6AJJ-D区 (北東から)



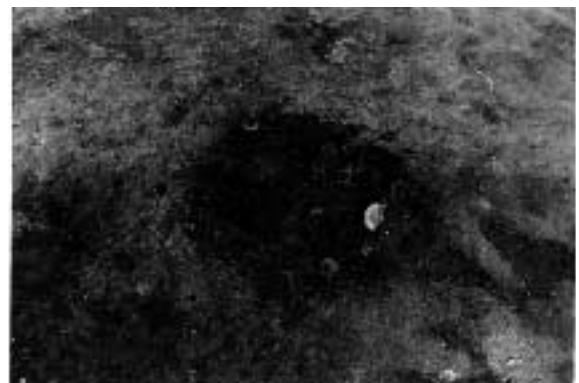
6AJJ-D区 調査区西半(南西から)



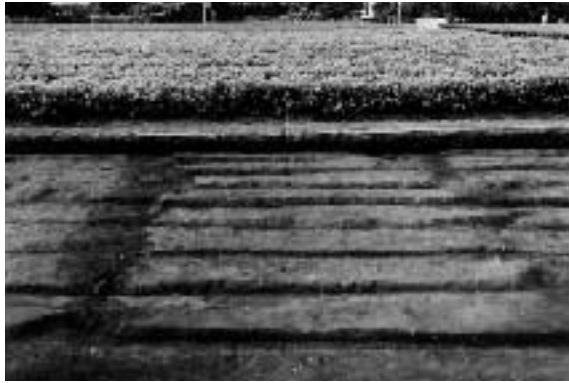
6AJJ-D区 SD144 鬼瓦出土状況(北から)



6AJJ-D区 SK145(南から)



6AJJ-D区 SK146(南から)



6AJE-C区 SD164・SD165(南から)



6AJE-C区 SD164 断面(南から)



6AJC-G区 SD163 検出状況(南東から)



6AJC-G区 SK162 断面(南東から)



6AJJ-D区 作業風景(南西から)



6AJC-D区 作業風景(北から)



指導委員会(南から)



現地説明会(南西から)

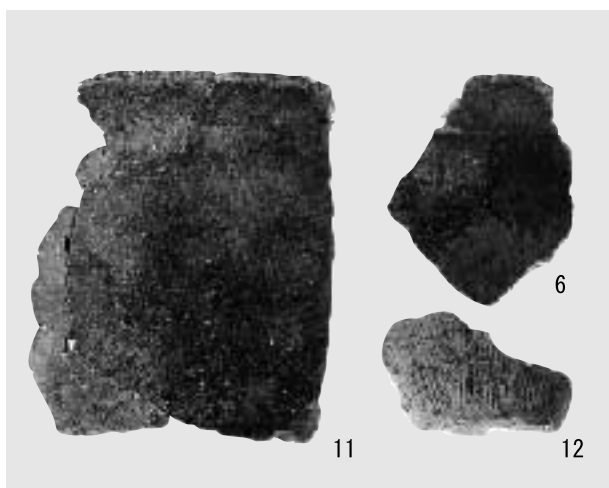
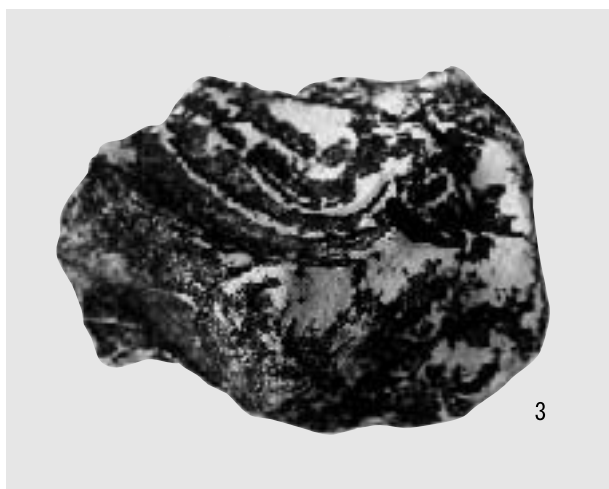
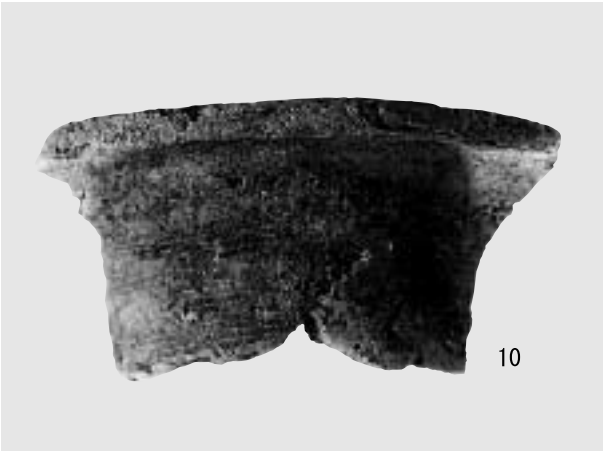


Plate20



Tab. 6

報告書抄録

ふりがな	いせこくふあと5							
書名	伊勢国府跡5							
編著者名	吉田真由美							
編集機関	鈴鹿市教育委員会 鈴鹿市考古博物館							
所在地	〒513-0013 三重県鈴鹿市国分町224番地 TEL0593(74)1994							
発行年月日	西暦2003年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
長者屋敷	<small>ひろせ やおろし</small> 広瀬町字矢下 1154番・1120番1 ・1125番 <small>にしとみた やおろし</small> 西富田町字矢卸 1015番8	24207	306	34° 52′ 43″	136° 30′ 01″	20020424) 20020812	1184.1m ²	学術調査
	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
古墳 官衙	弥生・古墳 ・奈良	溝・古墳周溝・ 土壇墓・竪穴住居 土坑・小柱穴		鬼瓦・平瓦・丸瓦・ 土師器・弥生土器・ 石斧・ガラス玉・ 管玉・近世陶器		第15次調査。伊勢国府跡。 弥生時代の土壇墓，古墳を 確認。朱雀大路の確認には 至らなかった。		

伊 勢 国 府 跡 5

発 行 日 2 0 0 3 年 3 月 3 1 日
編 集 ・ 発 行 鈴 鹿 市 教 育 委 員 会
鈴 鹿 市 考 古 博 物 館
〒513-0013
三 重 県 鈴 鹿 市 国 分 町 2 2 4 番 地
TEL 0 5 9 3 (7 4) 1 9 9 4
FAX 0 5 9 3 (7 4) 0 9 8 6
E-mail : kokohakubutsukan
@city.suzuka.mie.jp
URL : <http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum>

印 刷 早 川 印 刷 株 式 有 限 公 司



表 紙:アートポストR(キク139K)古紙配合率35%
内容紙:マツコートグリーン100(キク76.5K)古紙配合率100%

Ise Kokuhu Site

Preliminary Report No.5

March,2003

Suzuka city Board of Education Mie Pref., Japan